

平成30年7月豪雨災害調査 特別委員会を設置しました

平成30年7月豪雨災害は、市内各所にこれまでの想定を大きく上回る未曾有の被害をもたらしました。その結果、残念ながら8人も人命が失われることとなるなど、市から発令される避難情報を受け取った住民側の受け止めと、それに基づく避難行動のあり方が新たな課題となりました。

そこで、防災・減災機能を高め、本市を災害に強いまちにするため、今回の豪雨災害における避難情報の発令・伝達を受けた側の住民の避難行動と、地域住民の置かれた状況等について調査し、地域住民を確実な避難行動につなげるための方策等を検討することを目的に設置します。

同様に今回の災害において課題となった災害時の情報の管理、自主的な防災活動及び避難所運営のあり方などについても調査・検討していくこととします。



平成30年7月7日本郷町船木



平成30年7月10日木原6丁目（福地）

【特別委員会の組織体制】

委員長 梅本 秀明
副委員長 加村 博志

小委員会を編成し、特定の項目の調査を付託する。

【具体的な調査項目】

委員会名	調査項目	委員数
第1小委員会	避難情報の発令・伝達と避難行動	7人
第2小委員会	避難情報以外の情報の収集・管理・発信	7人
第3小委員会	自主的な防災活動への支援	8人
	避難所の開設・運営	
全体会	復旧・復興の進捗状況	議長を除く 24人の議員

※平成30年12月31日付で議員が辞職したため、1人欠員となっています。

平成30年12月 定例会の概要

12月4日に開会され、18日までの会期15日間の日程で開催しました。今定例会では、2億2361万円の一般会計補正予算（第7号）ほか30議案を審議し、それぞれ可決しました。また、請願1件の審査を行いました。これらの詳細は以下の項目で報告します。